

一迫商業高等学校

校訓 誠実 自律 奉仕



1 基本データ

創立：昭和48年
 課程・学科：全日制課程・流通経済科、情報処理科
 生徒数：96名
 所在地：〒987-2308
 栗原市一迫真坂字町東133番地
 TEL：0228-52-4112
 FAX：0228-52-4111

ホームページアドレス：
[https:// ichisho.myswan.ed.jp](https://ichisho.myswan.ed.jp)
 電子メールアドレス：
ichisho@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関：
 栗原市民バス 花山線一迫商業高校前

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

一商で一緒に夢を叶えよう！

1学年2クラスで、少人数で丁寧な指導を行っています。「一人ひとりか輝くチーム一商」をスローガンに先生と生徒が一緒に、皆さんの夢や目標を探していきます。そして、その達成に向かって学習や資格取得、部活動を手厚くサポートしていきます。また、多くの1級資格取得ができるのは、東北地区で一商だけです。資格取得で成長を実感できます。資格取得を生かして、大学に進学もできます。地元企業とコラボした授業もあります(栗原版デュアルシステム)。社会に出る前に、しっかりとした力を身に付け、将来社会で活躍できる生徒を育てています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

大正13年3月、一迫町立一迫実科高等女学校として開校し、その後一迫高等女学校、宮城県築館高等学校一迫分校となり、昭和48年4月に独立開校。平成6年度、商業教育の専門性を高めるために学科改編をおこない、流通経済科、会計科、情報処理科の3学科(男女共学、学科別募集、推薦入学制有り)としましたが、少子化の影響で会計科の募集を停止し、平成23年度から流通経済科、情報処理科の2学科となりました。

平成23年度入学生からは流通経済科も簿記1級を取得できるように教育課程を編成し、次世代を見据えた教育内容を展開しています。東北唯一の公立商業高校として、地域社会の人々の期待を担いながら、産業経済の振興発展に寄与する有為な人材の育成を目指しています。

(2) 教育方針

「誠実・自律・奉仕」を校訓に、新しい時代における産業・経済社会を担う者として欠かすことの出来ない教養・知識・技術を十分に身に付け、強靱な身体と不屈の意志を育てることを目標にしています。また、地域に愛され、地域に信頼され、地域になくてはならない学校を目指し、校訓「誠実・自律・奉仕」の精神を身に付け、地域社会を担うことのできる有為な人材を、商業教育を通して育成しています。

(3) 教育課程の特徴

<流通経済科>

流通業(販売・サービス)などの仕事に役立つ基本的な知識・技術について主に学習します。具体的には、「どのようにすれば商品やサービスが売れるのか?」というテーマについて、専門的な商業の科目を勉強しながら考えていきます。

将来、就職の際に役立つ「接客マナー」や「ビジネスマナー」等も身に付け、社会に出た時すぐに企業で活躍できるように学習していきます。

<情報処理科>

コンピュータ(パソコン)などに関する基本的な知識・技術について主に学習します。具体的には、エクセルやワードなどのソフトウェアを活用し、ビジネス(事務処理)の場面で使われる文書や表、グラフなどを作成します。

またプログラミングや簿記など専門的な学習もすることが出来ます。高校で学んだ基礎を生かして、大学や専門学校へ進学し、社会で活躍できるスペシャリストを目指します。

両学科ともに、学科の専門性を生かした「資格取得」で専門性を身に付け、「栗原版デュアルシステム」で実社会から学び、生徒の自信を深めます。最終的には「世のため、人のために、社会で活躍できる職業人の育成」を目指します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

運動部では、硬式野球部が第77回選抜高校野球大会に出場し、ベスト16になりました。平成29年度、令和元年度に陸上のやり投げ競技でインターハイに出場しました。また、弓道部はインターハイの出場実績があります。女子剣道部は平成25年度から地区総体3連覇を達成しました。

文化部では、ワープロ部が平成26年度から3年連続東北大会出場を果たし、個人では全国大会に出場しました。商業研究部は平成29年度に県で優勝、東北大会3位となり活発に活動しています。どちらの部も商業高校ならではの特色ある部活動であり、東北大会常連校(強豪)です。

生徒会活動も活発で、運動会、文化祭、球技大会等の諸行事の企画運営はもちろん、朝の挨拶運動、学校周辺のゴミ拾い、道路の花壇の整備、地域の配食サービスなど、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域に根ざした学校づくりを目指しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
大学	1	3	6
短期大学	1	1	1
専各学校	16	9	10
就職(県内)	13	25	30
就職(県外)	3	3	9
その他	0	3	1
卒業生計	34	44	57

主な進路先(令和5年3月卒業生)、
 ()内は人数 (1)は省略。

<大学>

東北学院大学、宮城誠真短期大学

<専修各種学校>

仙台総合ビジネス公務員専門学校、宮城調理製菓専門学校、東北ヘアモード学院、仙台総合ペット専門学校、東北電子専門学校(4)、花壇自動車学校、仙台医健・スポーツ専門学校、専門学校デジタルアーツ仙台、仙台こども専門学校、東北職業能力開発大学校(3)、大崎高等技術専門学校

<就職(県内)>

東北電力株式会社、アイリスオーヤマ株式会社、菅原産業株式会社、株式会社アルファス計装、伊藤ハムデリー株式会社、新みやぎ農業協同組合、栗原食肉株式会社、株式会社北光、株式会社ホンダ販売光和、株式会社ネクスト、ナブコト株式会社(2)、東北部品株式会社

<就職(県外)>

イオンスーパーセンター株式会社盛岡本店、株式会社アミーゴ、株式会社DGテクノロジーズ



3 学校魅力発信

(1) 栗原版デュアルシステム

栗原版デュアルシステムは地域産業界と連携を図りながら職業人として地域社会に有為な人材を育成することを目的とし、「総合実践」の中の「販売実習」「起業家研究」「企業実習」を中心とする取組です。

「販売実習」は地元の商業施設の一部を借りて生徒が物品販売をするものですが、商品のリサーチや仕入交渉から店舗運営、会計決算までの全てを行います。

「起業家研究」は課題解決の手法について学び、企業が抱える実際の課題に対して、企業と生徒と一緒に考え、解決を図るものです。

「企業実習」は2年次で行う3日間のインターンシップよりも長い、年間20回程度の長期企業実習を行うものです。

以上のような3年次の取り組みを念頭に、2年次には総合的な探究の時間で「インターンシップ」に向けての学習を行います。また1、2年次には「拡大社会人講話」を実施します。

学習した内容を更に深めるために、インターンシップ終了後、2年生は1年生に対して報告会を開催しています。また、3年生は「販売実習」「起業家研究」「企業実習」に取り組んでの学習成果を1、2年生及び協力企業や学校関係者、地元中学生に対して報告会を実施しています。

このような取組を通して、生徒の職業観や勤労観を高め、地域とともに課題を解決するなど地域社会に貢献し、社会人として必要な資質・能力を高めています。



<販売実習>



<起業家研究>



<企業実習>



<学習報告会>

(2) 主な学校行事

- 4月 始業式、入学式、対面式、PTA 総会
- 5月 春季生徒総会、オンライン学校
- 6月 第1回考査、全商ビジネス計算実務検定、全商簿記実務検定、芸術鑑賞会、スポーツフェスティバル①
- 7月 全商ビジネス文書実務検定、接客マナー講習会、三者面談
- 8月 オープンキャンパス、就職達成セミナー
- 9月 第2回考査、外部講師面接、インターンシップ(2年)、全商英語検定、全商情報処理検定
- 10月 文化祭、オープンキャンパス
- 11月 第3回考査、ロードレース大会、全商ビジネス計算実務検定、全商ビジネス文書実務検定、販売実習、スポーツフェスティバル②
- 12月 修学旅行(2年)、全商英語検定、全商ビジネスコミュニケーション検定
- 1月 全商情報処理検定、全商簿記実務検定、栗原版デュアルシステム学習報告会
- 2月 第4回考査、全商商業経済検定、同窓会入会式
- 3月 卒業式、修業式、離任式

(3) 学校制服紹介

ブレザータイプの制服です。スラックスを着用する場合はネクタイ、スカートを着用する場合はリボンを身に付けます。

今年度よりウォッシュアブルの生地に変更しました。

※女子用スラックスもあります。



(4) 本校生徒の活動の様子



<スポーツフェスティバル>



<ロードレース大会>



<花壇の整備>



<生徒商業研究発表大会>



<スピーチコンテスト>



<ワープロ競技大会>

4 在校生からのメッセージ

私は一迫商業高校に入学したことで、日々の生活の中に目標を定めて達成し、自分に自信を持つことができました。一迫商業高校は、様々な行事や検定に力を入れており、生徒一人ひとりが楽しみながら、行事や学業に取り組める環境が整っています。生徒数が他の高校に比べて少ない分、先生方がマンツーマンで指導をしてくれます。先生方がつきっきりで勉強を教えてください、自分の苦手な部分の克服することができています。また、先生方とコミュニケーションを多くとることで、ビジネススキルの取得にも繋がります。

一迫商業での学習の成果を発揮できるステージが、検定試験です。他の高校にはない専門科目の検定を多数取得することができます。上位級を多く取得することで、進路の幅を広げるとともに、他の人にはない自分だけの長所を作ることができ、自分に自信を持つことができます。このように一迫商業高校では、社会に出て必要な知識やスキルを学ぶことができ、他校とは違った様々なことに挑戦できる環境がある。学校生活に関わる様々な人の「手厚いサポート」があることが一迫商業の一番の魅力です。ぜひ一商で充実した3年間を送っててください。

生徒会長 菅原龍二さん(築館中出身)